



教育相談だより

静岡県立静岡視覚特別支援学校

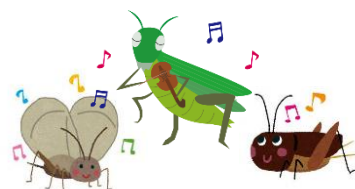
令和4年 10月 第2号



爽やかな風が心地良い季節になりましたが、皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。

本校では、校内さんぽから帰った幼児が小さな手にいっぱいのだんごりを握っていました。色づく木々やにぎやかな虫の音、キンモクセイの甘い香り等、子ども達には、秋の自然を存分に味わってもらいたいと感じています。

乳幼児保護者学習会



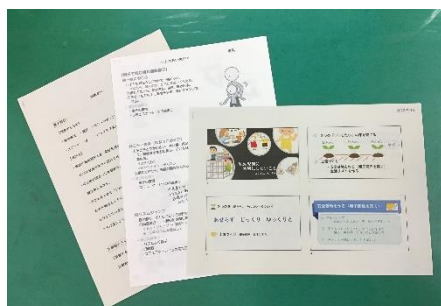
9月20日に元浜松視覚特別支援学校教諭の山下詠子先生を講師にお迎えして、保護者学習・懇談会を行いました。

3つの芽(動きたい・触りたい・伝えたい)を育てることや土壌づくり(親子関係・生活リズム)を行うことの大切さについてお話を聞くことができました。また、眼の代わりになる手指を育てるために気を付けることも教えていただきました。

後半は各家庭での取組や工夫、お悩みについて懇談会(情報交換)を行いました。それぞれの保護者の取組や子どもとのかかわり方について山下先生から称賛していただく場面がたくさんありました。

キーワードは「**あせらず・じっくり・ゆっくりと**」です。子育てに悩むことがあるかと思いますが、お一人で悩まず、良い方法を一緒に探していきたいと考えています。

今回は参加できなかったけれど、学習会の詳細が気になるという方はお声がけください。学習会の動画や資料がございます！

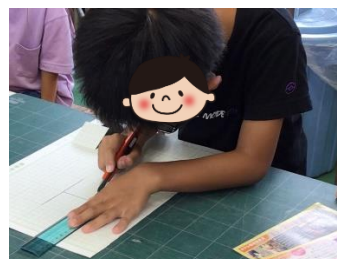


夏休みの教育相談の様子

夏休みは小学生の相談が多くありました。3つの相談事例を簡単に紹介します。

相談例①

カッターの使い方とボール投げを教えて欲しいという小3男児。図画工作や体育の先生に道具の安全な使い方やちょっとした工夫、投球フォームを教わり、自信がもてたようです。



相談例②

視覚補助具(ルーペと単眼鏡)の使い方を学びにお弁当を持参して特訓に来た小4女児。ルーペでテストやルビの細かい文字を読む練習を行い、素早く読めるようになりました。単眼鏡のピント調節もできるようになり、黒板や遠くの表示も視認できるようになりました。三角定規や分度器、コンパスを使った作図の学習にも取り組みました。



相談例③

直定規の計測の相談に来校した小2女児。私物の定規では、ミリ単位の細かいめもりは見えにくい様子でした。白黒反転の定規ではかると正しく計測できたので、白黒反転定規をお貸しすることにしました。



図画工作では、道具(カッターや彫刻刀、かなづち等)を使って制作する活動が多くありますね。教育相談では使い方を教えたり、扱いやすい道具を紹介したりしています。

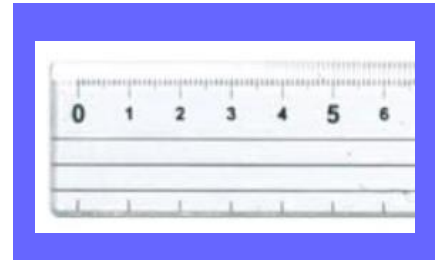
算数の図形分野は、2年生で直定規、3年生で三角定規やコンパス、4年生で分度器を使った計測や作図に取り組みます。高学年になると、立体の展開図、拡大や縮小図の作図へとさらに発展していきます。その都度十分に理解し、学びを積み重ねていきたいですね。

作図の学習（算数）

「作図は苦手・・・😞」と感じている小学生は、少なくありません。見えにくさのある児童の中にも、うまくできないと悩み、相談にいらっしゃることがあります。作図の相談に来校した2つのケースを紹介したいと思います。

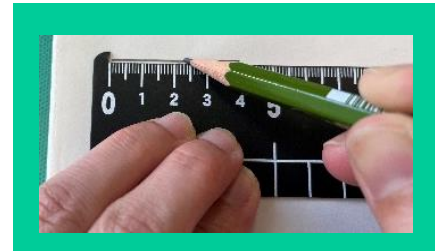
ケース① 定規のめもりが見えにくい。

右の写真は、定規の目盛りの見えにくさをあらわしたシミュレーション画像です。目盛りのような細かいものは、読みとりにくいことがあります。



★ 支援 見やすい用具を使いましょう！

右の写真のように白黒反転になっている定規はめもりが見やすいようで、人気があります。文具店では、クツワやレイメイの定規が白黒反転定規として有名です。また、本校では以下の定規もお勧めしています。



動画で確認してみてください！

弱視児用定規セットのご紹介 ￥1,500(送料込み)

(15cm 直定規1個、三角定規2個、分度器1個)

<https://forms.gle/gGusY6e34w9zED2x8>

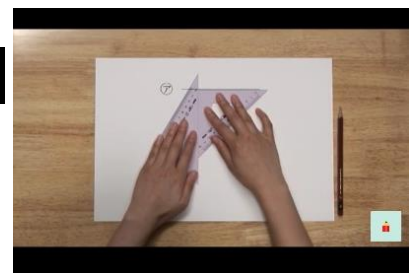


ケース② 手本の動きが見えにくい。工程が多くてわかりにくい。

見えにくさのある児童は、模倣(見て真似ること)が難しく、一連の流れを捉えることが難しいようです。また、作業工程が多いと、混乱してしまう児童もいます。

★ 支援 動画で1つ1つの動きを確認してみよう！

作図の工程や流れを理解するために繰り返し動画を見て確認しましょう！静止したり、再生速度を調整したりして、道具の向きや置く位置を確かめられるので、じっくり理解を深めることができます！



教科書出版社のデジタル映像は、わかりやすいですよ！（上図は東京書籍）

視覚障害児 担当者研修会

保育園や児童発達支援事業所、小中学校の先生方を対象に研修会を行いました。参加者には、授業参観や視覚障害疑似体験、支援の工夫に関する講話、情報交換会などを行いました。

シミュレーションレンズやアイマスクをつけた視覚障害疑似体験では、ものを探す活動や文字の読み書き、軽作業、移動や運動に取り組みました。

見えないことや見えにくいお子さんの心理を想像し、安心感のある環境で、達成感を感じながら取り組めるように、声掛けや支援の工夫について考えました。

◆ 先生方の感想

- ・微細な操作を必要とする作業は目が疲れて労力がいる。
- ・まぶしさと、見えにくさでボールが怖い。敵か味方もわからない。スピード感やボールが来る方向が分からない。
- ・相手の表情が分かりにくく、不安で、周りに関わることをためらった。
- ・本人の努力・頑張りに頼っている部分が多い。支援を学年全員で共有したい。

◆ 将来に向けて

本校の弱視当事者の教員も交えて行った情報交換会では、合理的配慮の視点から「弱視児童生徒自身がどういう支援を必要としているのかを説明したり、要求したりする力が大切である。」という話がありました。

高校入試では、力を発揮するために必要な配慮を申請することが認められています。問題用紙や解答用紙の拡大等、必要なことを試し、早めに考えていきましょう。



保育園や児童発達支援の先生方と、玩具や活動の工夫を考えました。



小・中学校の担任や学年主任、特別支援教育コーディネーターと学校生活における支援を考えました。

高校入試の基礎知識

入学者選考では、受験生のみならず、同じ学力検査を一緒に受験します。受験料50点、合計250点が満点です。

科目	時間	満点	受験料
国語	100分	50点	50点
数学	100分	50点	50点
英語	100分	50点	50点
理科	100分	50点	50点
社会	100分	50点	50点
体育	100分	50点	50点
音楽	100分	50点	50点
美術	100分	50点	50点
総合	100分	50点	50点
合計		250点	500点

※受験料は、入学者選考の日に納入してください。

※入学者選考の日は、毎年11月15日（日）です。

※入学者選考の場所は、各中学校の体育館です。

※入学者選考の時間は、午前8時30分から午後5時30分までです。

※入学者選考の服装は、清潔な服装で、靴はスニーカーです。

※入学者選考の持ち物は、受験票、受験料、筆記用具、時計、水筒、ハンカチ、タオル、雨具などです。

※入学者選考の注意事項は、受験票の裏面に記載されています。

受検上の配慮願

静岡県教育委員会パンフレット
「公立高校をめざすあなたへ」